

豊洲旬便り

2026 年 9 月号

米川水産株式会社 営業二課

～猛暑一段落、秋の味覚へ～

戻り鰹 ・ 秋刀魚 ・ 秋鮭

カツオ相場 高騰続く

季節だより

朝夕にわずかながら涼しさを感じ始める長月です。9 月 23 日（水）は秋分の日ですが、豊洲市場は青果も開市し通常営業となります。台風シーズンは引き続き続くため、進路情報には最後まで注意が必要です。世界気象機関（WMO）の見通しによれば、8 月に続いた記録的な猛暑も 9 月に入ると高気圧の張り出しが弱まり、気候は概ね例年並みへ落ち着くと見込まれています。

9 月も **20 日（日）～22 日（火・国民の休日）の 3 連休**があります。市場は 21 日・22 日が休市、23 日は青果も開市しますが、産地・仲卸ともに動きが鈍る時期のため、**前発注**を忘れずにお願いいたします。

8 月の振り返り

8 月は例年、鮮魚の入荷が落ち込む月ですが、今年は例年以上に台風の進路が大きく影響しました。特に鰹、イワシの記録的な不漁が相場を大きく押し上げました。海水温の上昇により両魚種の生息海域が変化したことが主要要因とみられ、仲卸各社は仕入れに苦労する一月となりました。一方で明るい話題として秋刀魚の水揚げが始まり、初回こそ小型が中心でしたが、13 尾/2kg という良型サイズも入荷し始めています。

市場・水揚げ最新状況

猛暑が続いたことで、火を使わない食卓需要と夏バテ対策から**カツオ・マグロ類**への引き合いが強まりました。豊洲市場の生鮮カツオは今年、入荷量が大幅に増え価格もこなれており、直近は 1 日あたり 50t 前後の入荷、平均価格は前年より 3 割ほど安い水準で推移。魚体は 2～5kg が中心で歩留まりも良好です。

特に**宮城・気仙沼産カツオ**は脂乗りが良く、7 月から 9 月にかけて品質のピークを迎えています。手頃な価格帯と質の高さが両立しており、店頭の見玉商品として動きやすい状況です。

一方、焼津市場の**海外旋網カツオ**は史上初の 300 円/kg 台に突入し、直近も高値を継続中です。海外旋網漁の割合低下（全体の 67%まで縮小）、タイ・バンコクの国際原料相場の高止まり、そして 1 ドル 150 円台後半という記録的な円安が重なり、水産加工業界には大きな負担となっています。

秋鮭の入荷も始まりました。相場は例年並みで推移していますが、入荷数自体は少なく、**筋子**の相場はかなり高騰しています。今後の入荷動向を注視する必要があります。

【季節を味わう】戻りカツオと秋刀魚

エサをたっぷり食べた**戻りカツオ**は、最高潮の脂乗りを迎え、さっぱりとした刺し身はもちろん、炙りや濃厚な薬味醤油との相性も抜群です。もうひとつの秋の便りは**秋刀魚**。水揚げが始まったばかりで、初回は小型が中心でしたが、13 尾/2kg という良型サイズも入荷し始めており、これから本格化する脂の乗りに期待が高まります。

2026 年 9 月 休市日

■ 水曜休市日

2 日・9 日・16 日・30 日

■ 祝日休市

21 日（月・敬老の日）

22 日（火・国民の休日）

※23 日（水・秋分の日）は青果も開市

△ 20～22 日は 3 連休！

前発注を忘れずに

満月情報（入荷注意）

9 月 27 日（日）未明が満月（ハーベストムーン）。前後数日は入荷減・高値傾向となりやすいため注意。

△ 焼津カツオ相場 高騰続く

海外旋網カツオが史上初の 300 円/kg 台へ。円安・原料高・海外旋網漁獲比率の低下が重なり、加工業界への影響が深刻化しています。今後も相場動向を注視。

これから旬を迎える魚

戻りカツオ 秋刀魚

秋鮭 鰹 鯖

太刀魚 スズキ

麦わらタコ カワハギ

イサキ ハタ

など

海流・海水温情報

◆常磐・三陸沖

水産研究機構の予測では、カツオの主分布域は北緯 35 度以北、東経 143～155 度付近（海面水温 21.9～26.1℃）。9 月分布域は今月下旬に更新予定。

◆台風・海況

9 月も台風シーズンが継続。接近時は入荷急減・相場急騰のリスクあり、早め早めの対応を。